

農事組合法人 逢妻 で農福連携を開始！

- ①持続可能な農業経営の実現と、
②障がい者の就労の場づくり に取り組みます！**



豊田市中西部で稲作経営を行う農事組合法人 逢妻（代表：菅沼浩 以下、「逢妻」）は、令和3年12月、指定障害福祉サービス COLORFUL（カラフル）と社会復帰施設アームの2施設と契約し、農福連携の取り組みを開始しました。

米・麦・大豆のみの栽培を行ってきた「逢妻」が野菜栽培を開始したのは令和2年のこと。近年の米価の下落を受け、経営の安定化を図ることを狙いました。しかし、機械化が進む稲作と異なり、野菜では収穫～箱詰めまでの手作業が総作業時間の半分を占め、人手不足の中で収穫～箱詰めまでの作業を円滑に進めることが大きな課題でした。その打開策として、令和3年8月にJAあいち豊田に相談を持ち掛け、JAの仲立ちの元、地域の障がい者福祉施設とのマッチング・障がい者の作業内容について検討を重ね、12月に農福連携の取り組みを開始しました。

JAあいち豊田では、農福連携を視野に「逢妻」の具体的な作業内容や条件をヒアリングし、必要な設備や、機材、就労環境などの情報を整理し、それまで障がい者と仕事をするのがなかった「逢妻」が、受け入れる体制づくりに尽力。現在も、JAあいち豊田の営農センター職員も作業場に出向き、作業時のアドバイスを行っています。

現在の取り組み内容（～1月までの取り組み）

- 利用者数：日々4～5名が就労
- 就労時間帯：毎週月、水、木、金曜
9:30～15:00（昼に1時間休憩）
- 作業内容：サニーレタス・ほうれん草の出荷調整
（余分な葉の除去、帯付け、袋詰め、箱詰め）
- 就労場所：豊田市本地町のビニールハウス内



▲サニーレタスを袋詰めする利用者ら

「逢妻」の担当者の声

仕事ぶりはとても丁寧で、効率的に作業が進んでいます。
また、皆さんが熱心に取り組んでくれていて、頼もしく思っています。

JAあいち豊田は今後も農福連携の取り組みを進め、労働力不足に悩む生産者、障がい者の就労支援など多方面から持続可能な農業に向けて働きかけていきます。

取材希望の方は随時対応いたしますので、必ず下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：JAあいち豊田 営農部 営農企画課 鈴木（受付時間：平日9～17時）
住所：豊田市西町4-5 TEL (0565) 31-2460 FAX (0565) 31-9825